



高槻赤十字病院

# 地域医療連携室だより



立秋とは名ばかりの厳しい暑さが続いておりますが、お変わりありませんか。高校野球が始まりました。情熱！気合！粘り！！キラキラしている彼らからは元気をもらいますね。

さて、前回の地域医療連携室だよりでは、「患者支援センター」開設に伴う部署移動のお知らせをいたしました。改良点は、相談の個室が3部屋できたことです。問題点は、動線が長いことです。患者支援センターについて、忌憚のないご意見をお待ち申し上げます。課題をしっかり把握し、球児たちに負けないうらい頑張っています！


ご報告 好評！

## ブラックジャックセミナーを終えて



ブラックジャックセミナーとは、深刻な医師不足が懸念されている中、将来を担う多くの学生たちに、最新の治療の体験を通じて、「将来医師になりたい」、「医療に携わりたい」という興味を抱いて欲しいという思いから、2005年より、実際に治療現場で使用される医療機器を用いた手術体験セミナーです。

7/26(土) 猛暑日の中、「ブラック・ジャックセミナー(医療体験セミナー)」に、28人の中高生たちが集いました。当院医師の指導のもと、ドキドキしながら1チーム6人でスタート！

- 手術室の師長から“ガウンテクニック”を習って皆で協力しながらガウンを着用し、
- 3D腹腔鏡を使用しての“手術”体験！  
専用グラスで立体的に見える画像を見ながらの操作です。  
※3D腹腔鏡は、今年4月に、北摂地区で初導入されました。
- “糸結び”をしたり、本物そっくりな人工皮膚を“縫合”したり…
- 鶏肉を使って“電気メス”や“超音波凝固切開装置”で切開を体験！
- 最後に、当院ならではの“災害救護倉庫”の見学を保護者の方として頂きました。



修了証の授与式では、笑顔があふれました！

### ＜参加者の声＞

「細かな操作が必要で一筋縄ではいかないと分かった。医者の仕事の大変さや日々のトレーニングをしているという先生の話を見て感動した！」  
「今日の体験で感じた喜びや発見を原動力にして将来の目標に向かって努力していきたい」



真剣な表情、生き生きとした表情から、充実した時間を過ごして頂けたと感じました。今回の出会いが今後の日本の医療を支える医師を目指す契機になることを、職員一同心から願っております。

多数のご応募・ご参加ありがとうございました。次年度も予定しています。

※セミナーの様子は、当院ホームページに掲載しております。

【協賛】社会福祉法人 高槻市社会福祉協議会  
【共催】ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

ご報告

## がん診療『市民公開講座』を開催しました



7/5(土)13時30分より高槻現代劇場 305号室にて行われました。不安定な雨空の中にも関わらず、市民の方、登録医の先生方合わせて89名の方にご参加いただき、誠にありがとうございました。

第一部では当院のがん診療を担う代表医師により、テーマ「**がん 最近の治療**」に加え、当院の医師の治療に対する思いをお伝えしました。

「食道がんの治療」	平松 昌子 (高槻赤十字病院 副院長 外科)
「肺がんの治療」	片山 優子 (呼吸器科 医師)
「血液腫瘍の治療」	安齋 尚之 (血液・腫瘍内科 部長)
「大腸がんの治療」	神田 直樹 (消化器科 部長)
「緩和ケア」	金村 誠哲 (緩和ケア診療科 副部長)

第二部の統合討論会では、市民の方から「自分が病気になったら治療の選択肢を挙げてほしい」「どんな食事をすればよいか?」「セカンドオピニオンを受ける時の上手な病院の探し方は?」等のご質問が挙がり、パネリストは真摯に回答されていました。

アンケートから、「**高槻赤十字病院は貴重ですね。がんと聞いた時から受けられる緩和ケアのチームも、緩和ケア病棟もあるのですから!**」という有難いお言葉をいただきました。がん診療や緩和ケア、緩和ケア病棟での療養を必要とされる方に満足していただけるよう職員一同スキルアップを図って参る所存です。

市民公開講座の利点は、市民の方にとっては、診察室ではないところで医師と話す機会となることです。当院医師にとっては、患者様やご家族様の気持ちを知り診療に臨め、病院のPRもできることです。双方にとって大変貴重な場面である当講座、次年度は、平成27年7/4(土)午後を予定しています。

発表内容から抜粋

**「がんになっても、あなたの生き方・夢をあきらめないで!」**  
当院には、様々なサポート体制があります。

治療費で困っている、症状の悩み、治療方法の選択の迷い、これらについて漠然とした不安や恐怖、家族役割の悩み、仕事と治療をどう両立させるか・・・など「こんなこと相談していいのかな」と思われることを相談できる場所がありますので、看護師、主治医へお声かけください。

または、下記相談窓口まで(平日9~16時)

- ★患者支援センター(1F)
- ★がん相談支援センター(2F)

アンケートより(一部抜粋)

「身近な病気についての、こういった教室を開いてほしい」とご意見を頂きました。

現在のところ毎年継続的に行っているのは、「糖尿病教室」と「がん診療『市民公開講座』」のみです。その他の教室開催については今後検討してまいります。



### 8月のおしらせ

- ① 通常診療しています。お盆休みはございません。
- ② 公開カンファレンスは、消化器科・呼吸器科ともに8月はお休みします。

**地域医療連携室** 外来予約・経過照会・セカンドオピニオン・転院のご依頼などの窓口です

◆◆TEL 受付時間 平日 8:40-19:00◆◆

TEL: 072-696-3274 (地域医療連携室)

◆◆FAX 受信は24時間受付◆◆

FAX: 072-695-0054 (地域医療連携室) 19時以降・休日受信は翌営業日朝の確認となります

◆◆メールアドレス◆◆

byousin@takatsuki.jrc.or.jp